

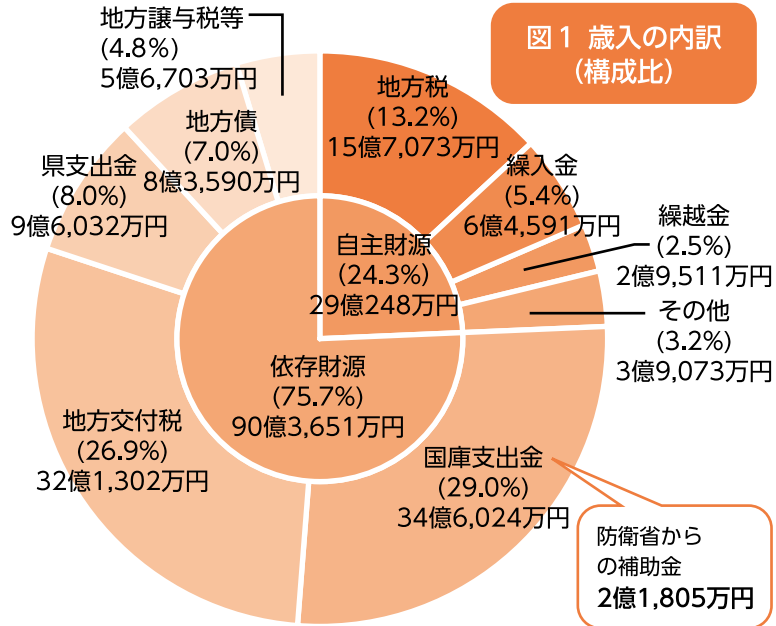
令和2年度 決算報告

令和2年度の決算状況をお知らせします。
 昨年度一年間に皆さんに納めていただいた税金や、
 国や県などからの補助金が、どのように使われたのか
 を見ていきます。

1 歳入 総額 119億3,899万円(対前年度比 +23億6,891万円 +24.8%)

収入では、特別定額給付金事業や新型コロナウイルス対応関連の補助金により、国庫支出金が最も多く、全体の29.0%を占めています。また、地方交付税は全体の26.9%を占めています。

収入のうち、自主財源は24.3%、依存財源が75.7%となっており、国や県からのお金に依存する構造となっています。



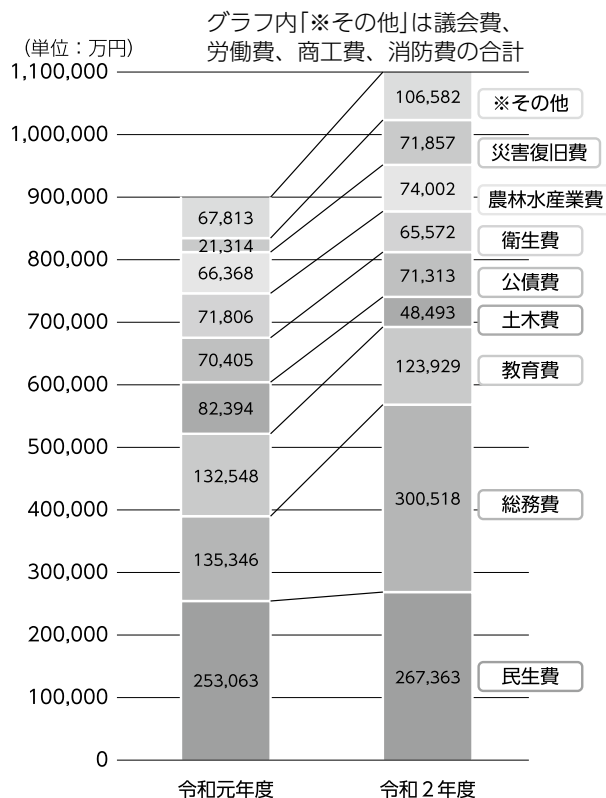
2 歳出 総額 112億9,629万円(対前年度比 +22億8,572万円 +25.4%)

歳出を目的別に見てみると、総務費や災害復旧費が大幅に増加しました。これは、新型コロナウイルス対応関連事業や特別定額給付金事業、令和2年7月豪雨の災害復旧事業により増額したためです。

～目的別～

- 【民生費】** 障がい者福祉や老人福祉、児童福祉などに使うお金
- 【総務費】** 町の総括的な事務や税の徴収、統計調査、戸籍、選挙などに使うお金
- 【教育費】** 小中学校や社会教育、給食センターなど、教育全般に使うお金
- 【土木費】** 道路や橋りょう、都市基盤整備などに使うお金
- 【公債費】** 借金を返済するためのお金
- 【衛生費】** 予防接種や環境保全、ごみ処理などに使うお金

図2 歳出の内訳(目的別)



3 収支

歳入総額から歳出総額を差し引いた額は、6億4,270万円です。このうち、翌年度(令和3年度)に繰り越す額9,301万円を差し引いた額は5億4,969万円となり、**令和2年度の実質収支額は黒字となっています。**

4 財政健全化判断比率及び経常収支比率の状況

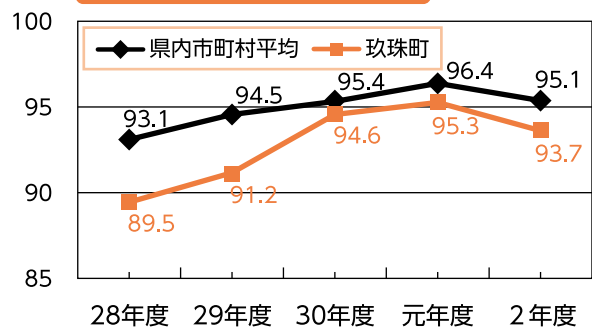
①財政健全化判断比率には、以下の4つの指標があります。玖珠町は、黒字なので3つの指標については公表数値がありませんが、黒字の割合を△で表すと以下のとおりです。実質公債費比率は、県下で最も低い(良好な)数値となっています。

玖珠町の財政健全化判断比率算定数値	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
△ 10.77	△ 17.61	2.9	△ 30.8	
早期健全化基準値	14.93	19.93	25.0	350.0
財政再生基準値	20.00	30.00	35.0	—

※いずれか1つでも基準値以上になると、財政危機と判断されます。

②経常収支比率とは、家庭でいえば、毎月の給料に占める食費や光熱費などの生活費、ローン返済額などの固定経費割合です。数字が小さいと、将来のために貯金をするなど、財政に自由度があることを意味し、まちづくりの事業などを実施しやすくなります。

図3 経常収支比率の推移



5 主な実施事業



災害廃棄物処理事業



令和2年7月豪雨災害復旧事業
下泊里人道橋(仮橋)設置工事



特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
玖珠町学校給食センター備品整備事業



特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
日出生本村簡易水道整備事業



デジタル化推進事業



議会映像配信機器整備事業